正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

7月号 2024



５月９日にオープンしたガザ南部ラファにあるICRC野外病院。外来・救急診療件数は、既に5,000件あまりに到達しています。

ラファのICRC野外病院のいま

その後、６月22日には、ICRCガザ事務所が砲撃の被害を受けました。人道支援スタッフが被害に遭えば、支援を届け、人びとを守ることができなくなります。国連とともに今後も声を上げていきます。

国連安保理決議を強く支持：人道支援要員の尊重と保護の要請

世界のトレンド



目覚ましい技術革新のまっただなかにいる私たち。武力紛争における“イノベーション”のカギとなるのが、人類の「道徳観」と「価値観」です。

新技術の発展と使用には人間中心のアプローチを

紛争の現場から



2020年秋からの紛争激化で、アルメニアの行方不明者は5,000人にのぼりました。行方不明者とその家族に寄り添うことは、私たちの大切な取り組みのひとつです。



紛争に関連して収容された人びとに、ICRCはどのように関与しているのかをご紹介します。

イエメン：113名の被拘束者が解放



ミャンマー西部ラカイン州からバングラデシュのコックスバザールに逃れてきた人びと。劣悪な衛生環境を改善するために立ち上げた事業を地元自治体に引き渡しました。コミュニティーの幸福への貢献として、持続可能な取り組みを目指しています。

日本人に知ってもらいたい！



ミャンマーでは、地雷が日常生活や命を脅かしています。

ミャンマー：義肢の修理工、他者と自身の傷を癒していく

駐日代表部だより



今から165年遡った1859年６月24日、イタリア・ソルフェリーノで激戦が繰り広げられました。のちに赤十字を誕生させるスイス人実業家アンリー・デュナンは、その惨劇を目の当たりにし、傷ついた人びとの救護に当たりました。紛争によって苦しむ人びとを保護する精神は、今もなおICRCに引き継がれています 。

ソルフェリーノの戦いでアンリー・デュナンが目の当たりにした光景



ICRC駐日代表部では、広報インターンを募集しています。締め切りは８月18日（日）。人道支援や国際法に関心がある！世界の人道問題を日本で発信することに携わってみたい！という方にうってつけです。是非私たちと一緒に働いてみませんか？

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2024 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp